

1－（9）源氏物語千年紀事業の推進

（文化庁・外務省・国土交通省）

源氏物語は、世界に多くの研究者や翻訳者が存在するなど、世界の文学史上、一級の価値と魅力を有する世界最古の長編小説であり、平成20年に、記録に現れた年から一千年を迎えます。

この大きな節目を迎えて、多くの人々や様々な団体が参画する記念事業を展開し、日本文化の奥深さ、素晴らしさを広く国内外に発信・アピールする「源氏物語千年紀事業」を実施します。

平成19年1月には、推進組織として、京都市、京都府、京都商工会議所、宇治市、その他関係団体及び有識者からなる「源氏物語千年紀委員会」を設立しました。

事業展開に当たっては、「紫のゆかり、ふたたび」をコンセプトとして、源氏物語千年紀委員会を中心に個人・団体・企業・行政機関が一体となって取り組んでいく予定であり、今後、京都を発信源として、日本全国はもとより世界において、日本文化に対する関心と評価を一層高め、国際交流や国際理解に大いに貢献していきたいと考えます。

そのために、国におかれましても、源氏物語千年紀に関連する事業を、次のとおり実施していただきますよう、提案・要望します。

提案事項

- 1 源氏物語千年紀を、国際文化交流及び日本文化の理解の推進のための好機と捉えた、外交、文化及び観光政策上の諸事業の実施
- 2 源氏物語が記録に現れた日である11月1日を、古典に広く親しむ日として「古典の日」に制定

要望事項

第6回国際文化フォーラムを、京都において源氏物語をテーマに開催

主な提案先：文化庁（長官官房政策課、国際課） 外務省（大臣官房総務課地方連携推進室、広報文化交流部総合計画課、文化交流課） 国土交通省（総合政策局観光資源課）

京都市の担当課：総合企画局 京都創生推進室 副室長 柴崎孝之 TEL 075-222-3375

文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課 計画推進担当課長 山中博昭
TEL 075-222-4105

産業観光局 観光部 観光振興課長 上田誠 TEL 075-222-4133

産業観光局 観光部 観光振興課 国際事業担当課長 西村健吾 TEL 075-222-4133

<参考>

1 源氏物語千年紀の由来

「紫式部日記」の寛弘5年(1008年)11月1日に「若紫」,「源氏」との記述があり,このときには,源氏物語が書かれていたことが記録上,確認できる。

2 源氏物語千年紀事業の経過

(1)「源氏物語千年紀よびかけ会見」(平成18年11月1日)

国内外の多くの個人・団体・企業・行政機関に千年紀の意義を理解・賛同していただくために,8名のよびかけ人が,京都(盧山寺)と東京(日本外国特派員協会)において会見し,多彩な記念の取組を展開していただくよう,よびかけを行った。

<よびかけ人>

秋山 虔	東京大学名誉教授
梅原 猛	哲学者
瀬戸内 寂聴	作家
千 玄室	裏千家前家元
ドナルド・キーン	コロンビア大学名誉教授
芳賀 徹	京都造形芸術大学名誉学長
村井 康彦	京都市芸術文化協会理事長
冷泉 貴美子	冷泉家当代夫人

(2)「源氏物語千年紀委員会」の設立(平成19年1月)

源氏物語千年紀事業の推進組織として,(財)京都文化交流コンベンションビューロー内に,京都市,京都府,京都商工会議所,宇治市,その他関係団体及び有識者からなる「源氏物語千年紀委員会」を設立した。

- ・会 長 村田純一 (財)京都文化交流コンベンションビューロー理事長
京都商工会議所名誉会頭
- ・副会長 梶本頼兼 京都市長
山田啓二 京都府知事
久保田勇 宇治市長

(3)「源氏物語千年紀委員会」事務局の開設(平成19年4月)

源氏物語千年紀事業の推進及び情報の発信拠点として,京都及び東京に事務局を開設した。

事務局開設に合わせて,フランス共和国のシラク大統領(当時)から,源氏物語千年紀の取組へのメッセージが寄せられた。

(4)源氏物語千年紀の事業構想,ロゴ,シンボルマーク等の発表(平成19年5月)

